

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社 フクマツ

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内内で共有、実践している。	●		朝礼及び年2回の慰労会にて、社長より企業理念及び経営目標を共有している。								8	9													17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令、社会規範及び社内規定を遵守し健全で公正な調達を行っている。																						16
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		仕入先等に対して、不当な値下げ圧力等をしないよう徹底している。											10											16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		総務部で社会・環境に及ぼす影響について把握管理し、工事部への共有体制を整備している。																						16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産基本法第2条第1項に規定される営業情報(事業活動に有用な技術上又は営業上の情報)、業務上知り得た会社及び顧客情報の守秘、保護に万全を期す旨について就業規則に定めている。								8.2 8.3	9													16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報漏えい防止を徹底しており、情報漏えいの事例等を用いながら社員への更なる啓発も実施する。																						16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		協力企業と定期的に情報交換を実施している。また、自治体(芦北町)との情報交換や、建設業組合との連携もやっている。																					16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		取引先及び協力企業との定期的な対話を通じ、業務上の連携を実施している。					5				8		10			12	13	14	15	16	17			17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		ハザードマップ等を活用し、災害時の避難経路を把握している。BCPを策定し、社員のみならず地域住民に配布出来る食料も備蓄している。											9			11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		現在、後継者について人材を選定している。									8		9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8						12	13	14	15	16	17		17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		性別、外見、家庭環境等において偏見を持たない職場環境を構築出来る様指導を行っており、就業規則にもハラスメント禁止の旨を明記している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3										16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		現場での社員の安全対策(こまめな休憩、水分補給、熱中症対策)を徹底している。また、社員には安全衛生責任者資格取得を奨励している。			3					8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態問わず、従業員に対しては公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3												
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		毎月のノー残業デーや完全週休2日制を導入し、GWや盆、年末年始等を社員の有給休暇取得日に設定している。(有給休暇取得の推奨)			3		5.5			8.5 8.8		10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		業務上必要な国家資格取得の為の受講費及び受験料等は会社で負担している(タンブ運転免許取得等も同様)外部セミナーへの参加、従業員へ自己啓発の為の図書を配布している。				4	5.5			8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康診断の実施、希望者には会社負担で人間ドックの受診を実施。屋内全面禁煙を実施している。			3					8													17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		役員に女性を登用している。外国人社員、高齢者社員を採用している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3											16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●					3					8	9.1		11	12										
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●										8	9.1		11	12										
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		2022年プライト企業に認定され、2025年更新申請予定である。			3	4				8	9			12										

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		工事の過程で出る汚水については分離槽を設置し、適切に処理している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		ガソリンの使用量と電気使用量を請求明細で把握し、肥後銀行提供の炭削くんでCO2排出量を見る化している。 平均排出量 156 tCO2 2026年 150 tCO2							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社用車をハイブリッド車に切替、CO2排出削減に取り組んでいる。建設機械のエンジンをこまめに切る事を社員へ推奨している。 平均排出量 156 tCO2 2026年 150 tCO2		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		現場からゴミを確実に持ち帰る様、社員へ徹底している。工事の過程で出る汚水については分離槽を設置し、適切に処理している。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		木材や破砕コンクリート等、それぞれ適切にリサイクル場へ搬出している。裏紙の利用や芯なしトイレトーパーの利用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事務所及び建設作業現場においては可能な限り湧き水を活用している。(山から引水)		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		木材や接着剤について、ホルムアルデヒド等の有害物質を含まない物を調達している。 社内で利用する紙は再生紙を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		飲食事業において、計画的な仕入れを実施し廃棄削減に取り組んでいる。契約農家から規格外の野菜等を仕入、廃棄削減に取り組んでいる。	1	2					6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			近距離からの通勤者には徒歩もしくは自転車での通勤を推進している。現場に向かう際は、可能な限り相乗りを推奨している。									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		各現場へ安全パトロールを実施し、現場の安全性や施工の品質等の確認を実施している。			3.9								9		12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		外国人社員等も理解出来る様、建設機械・器具についてひらがなと写真を用いたマニュアルを作成し活用している。											9.1	10	11.7					17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●		飲食事業において、契約農家と連携し、県産作物の消費に取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15		17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●		事務所玄関部分の天井に木材を使用し、木質化を推進している。								7						12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4									8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		2022年3月芦北町の小中学校全生徒へタブレットケースを寄付 2024年3月芦北町小中学校全生徒へタブレット端末を使用した授業で使用する際のヘッドホンマイクや体操着を寄付している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		協力会社の避難訓練に参加している。従業員の居住地や現場についてハザードマップでの確認を徹底する。災害発生時に備えた食料、トイレ防寒シート等を備蓄している。				4									11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		社員の内数名が地域消防団に所属している。災害に必要な備品(ブルーシートや土嚢等)を備蓄し、災害時に地域へ提供出来る様にしている。	1.5		3	4								10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9			11	12		13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		従業員に対し、掲示板等を活用しSDGsの普及啓発や教育を通じた意識向上に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		地元小中学生を対象とした職業体験を実施し、将来の若者の地元定着等に取り組んでいる。				4				8.6		10.2									17	
49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●		地元小中学生を対象とした職業体験を実施し、将来の若者の地元定着等に取り組んでいる。				4.4				8.5 8.6											17		
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2			12	13	14	15			17		